～自転車で日野町を一周～

池内（いけうち） 治（おさむ）さん（鎌掛１区）

ヒノコーイチの際に、各公民館長から頂いた記念色紙を持つ池内さん

池内さんは、自転車で琵琶湖を一周する「ビワイチ」から、日野町を一周する「ヒノイチ」（走行距離45㎞）のコースを考案されました。一昨年、ヒノイチを行い、見事に達成。また、昨年新たに町内各公民館を自転車で周る「ヒノコーイチ」も考案し、走行距離37㎞のコースを5時間43分で走破されました。

きっかけは健康管理

池内さんは、年を重ねるにつれ足腰に痛みが出始め、健康管理のために自転車に乗り始めたそうです。

普段は鎌掛を一周するコース（8㎞）を自転車で週に4、5回走っておられます。自転車に乗るようになってからは、筋力がついて足腰の痛みも和らぎ、朝の目覚めも良くなったそうです。池内さんは「年をとると家でじっとすることが増えがちですが、自然の空気を吸って適度な運動をすることは大切です」と話されます。

徐々に楽しみへと変化

自転車を始めたばかりの頃は集落の中を走っていた池内さんですが、慣れてくると楽しくなり、徐々に範囲を広げていったそうです。そして、80歳の誕生日を迎えるにあたり、ヒノイチに挑戦されました。はじめてのヒノイチを終えたときには、疲れは無く、大きな達成感があったそうです。

自転車の魅力

池内さんは「自転車で風を切って走るのは心地良いし、車では味わえない景色や新たな発見がたくさんあります。人生と同じで、平らな道だけでなく上り坂もあれば下り坂もあるので、自分の過去と照らし合わせながら走っています。今後も家族に心配をかけない程度に、できる限り自転車に乗り続けたいです」と笑顔で話されました。

今年度、町では新たなサイクリングマップを作成しました。いくつになっても元気で健康に過ごすために、マップを手に取り、自転車で町内を探索してみてはいかがでしょうか。マップは商工観光課などに設置しています。

サイクリングマップ

～昔と今、街を巡る、時を巡る～

日野ひなまつり紀行

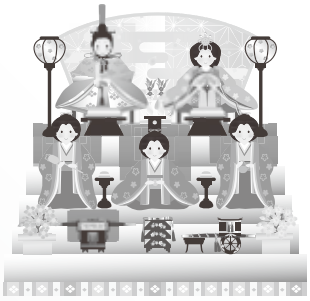
とき 2月6日（日）～3月6日（日）

ところ 大窪から村井、西大路にかけての町並み一帯

商家や民家など約150か所で、華やかで美しく飾られたお雛さまや創作人形と出会えます。昭和初期の雰囲気が漂い、ゆったりとした時間が流れる日野のまちの散策に皆さんぜひお越しください。

なお、期間中は町中を散策される方が多くなりますので、お車をご利用の方は、徐行運転にご協力をお願いします。

ご来場の際は新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力ください。



◆問い合わせ先
日野観光協会（日野まちかど感応館内）
☎0748-52-6577

ひのっこだより

町内の幼稚園や保育所・こども園、小・中学校での子ども達の様子や特色ある取り組みを紹介します。

桜谷こども園

【教育・保育目標】**心豊かでたくましい子どもの育成**

第１園舎は３～５歳児が53名、第２園舎は０～２歳児が30名、計83名の園児が在籍しています。３～５歳児は、短時間部と長時間部という生活時間に違いのある子ども達が一緒に過ごしています。保護者の就労に関係なく同じ教育、保育を受けられることが特徴です。園舎はわかれていますが、職員が連携をとり、０～５歳の連続した育ちを大切にしています。園舎がわかれていることで、それぞれの年齢に適した環境が準備でき、安心、安全でのびのびと遊べるところが魅力です。

子ども達が安心して自分の思いを出し、主体的に遊んだり生活したりできる保育を大切にしています

園庭の大きな築山で、保育者や友だちと体を使って遊ぶ中で体力がつき、体幹が鍛えられていきます。冬場は全園児のマラソンタイムもあります。

西桜谷公民館のグラウンドや体育館をお借りし、安心、安全な環境の中で、日々のびのびと体を動かしたり、四季折々の自然に触れたりしています。

遊びたくなる環境の中で、自ら「やってみよう」「もっとしたい」という気持ちで夢中で遊び、試行錯誤を繰り返す過程に学びがいっぱいです。

ありのままを受け止めてもらえる保育者との信頼関係を土台として、安心して繰り返し遊べるように努めています。

０～2歳児は、食事、睡眠、休息など、一人一人に合わせた生活リズムで過ごせるようにしています。

こばと園

【保育目標】**・明るく丈夫な子 ・友達となかよく遊べる子 ・よく考える子**

現在0歳児6名、1歳児15名、2歳児17名、3歳児18名、4歳児20名、5歳児22名、計98名の子ども達が在籍しています。園周辺には豊かな自然、支えてくださる地域の方々の存在もあり、安心できる人やものとの関わりを土台に、遊ぶこと、生活することを楽しみながら過ごしています。

その中で認められ、安心して自分を出し、「おもしろそう！」「やったらできた！」「またやってみよう！」の経験を繰り返しながら自信をつけていきます。

園周辺の自然や地域の方との関わりの中で…

どんぐり坂をのぼります
心も体もたくましく！

畜産センターへ遠足
「かわいいね」「ふわふわする」

毎日電車がみられます

地域の方の畑をお借りして栽培活動

どんなことにも興味津々！
遊びの中には学びがいっぱいです

～「自分が好き」「先生が好き」「友達が好き」と思える子～ の育成をめざして保育を進めています。

◆問い合わせ先　子ども支援課　子ども支援担当　☎0748-52-6583